



広がる赤い羽根共同募金活動 総合学習及び生徒会活動の 一環として街頭募金を実施!



東新潟中学校は総合学習として、白新中学校は生徒会活動として、「赤い羽根共同募金」の募金方法、用途を調査し街頭募金に取り組みました。各校の街頭募金をご紹介します。

東新潟中学校



3年生38人で「共同募金グループ」をつくり、新潟駅前万代口周辺、万代シティ周辺で、募金の使い方等を通行人に呼びかけ募金活動を行いました。

▲10月17日実施9:00～15:00 募金額75,328円

白新中学校



生徒会で「街頭募金」の活動者を募り36人で白山駅利用者や清水フードセンター関屋店の買い物客へ募金を呼びかけ、募金活動を行いました。

▲11月6日実施15:30～17:00 募金額15,633円

お寄せいただいた寄附金は、民間社会福祉施設の整備や小規模福祉作業所の運営、社会福祉団体の備品や事業費等に使用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

(仮称)新潟市権利擁護センター

平成19年4月

愛称募集!



新潟市の政令指定都市移行に伴い、来年4月より、新潟市社会福祉協議会が事業主体となって地域福祉権利擁護事業を進めます。

(仮称)「新潟市権利擁護センター」の特色をよく表現し、わかりやすく、親しみやすい愛称を募集します。

■応募方法

応募用紙に必要事項をご記入の上、応募先へお持ちいただくか、封筒に入れて郵送してください。また、はがきやFAXでの応募もできます。

なお、お一人様何点でも応募できますが、1枚について1点のみ記載してください。ただし、同一名称の応募は1点に限ります。

■応募先・問い合わせ先

〒950-0909 新潟市八千代1丁目3番1号
新潟市社会福祉協議会内権利擁護センター準備室愛称募集係
TEL 025-243-4416 FAX 025-243-4376

■締め切り

平成19年1月31日(水)必着 ※郵送の場合は当日消印有効

■賞

愛称を採用させていただいた方1名に商品券贈呈。(採用者複数の場合は、抽選)

■発表

平成19年3月頃
〔ふれあいひろば〕にて採用された愛称をお知らせします。なお、入賞者には、直接商品券を贈呈します。)

はがきで応募の場合、愛称、愛称に関する簡単な説明、お名前、ご住所、電話番号(携帯も可)をお書きの上、ご応募ください。

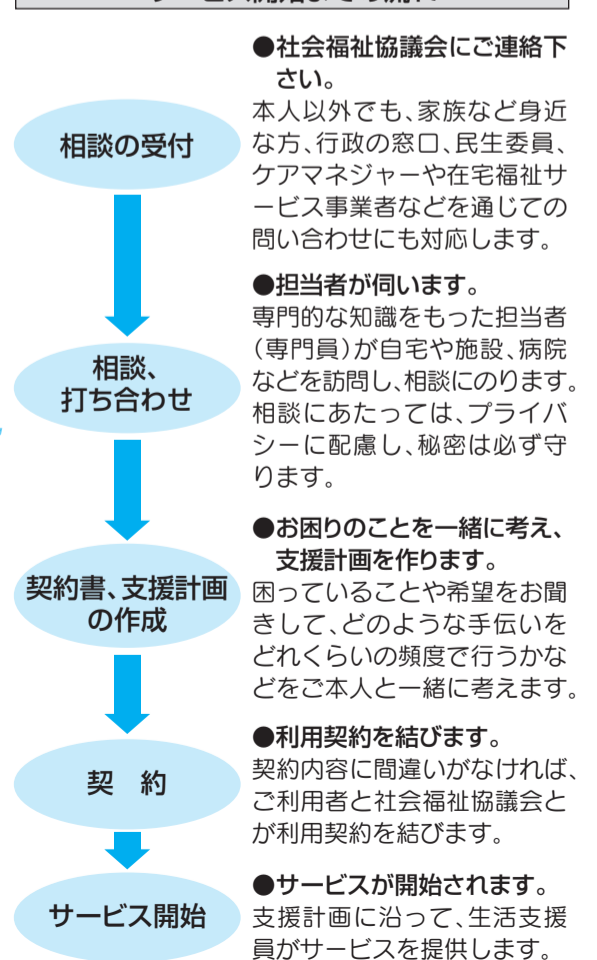
事業のご案内

この事業は、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等の方々が、住み慣れた地域で安心して自立した生活を送ることができるように、福祉サービスの利用などに関わる相談やお手伝いをし、その生活を支援する事業です。

相談の具体的な例

- お金の出し入れなど、日常的な金銭の管理に不安がある。
- 通帳や印鑑の保管に不安がある。
- 一人暮らしの生活や将来の生活に不安がある。

サービス開始までの流れ



全国の政令市権利擁護センターでは...

「札幌地域福祉生活支援センター」(札幌市社協) 「あんしんさぼーと事業」(大阪市社協)
「まもりーぶ仙台」(仙台市社協) 「りんりんネット」(神戸市社協)
「ちばし権利擁護センター」(千葉市社協) 「あんしん生活支援センター」(京都市・福岡市社協)
「横浜生活あんしんセンター」(横浜市社協) 「かけはし」(広島市社協)

(仮称)新潟市権利擁護センター愛称募集応募用紙

愛 称	
愛 称 に 関 する 簡 単 な 説 明	
ふ り が な	
お 名 前	
ご 住 所	
電 話 番 号 (携 帯 可)	

平成18年度社会福祉功労者表彰式

—民間社会福祉の功労者を表彰—

11月20日(月)新潟市総合福祉会館において新潟市の民間社会福祉の推進に尽力された功労者の表彰式が開催されました。

本年度は、永年にわたり民間社会福祉の増進に貢献し、顕著な功労のあった、85名の個人と13の団体の皆さんが受賞されました。特に38年間本会の副会長として会の発展に尽くされ、また本市の社会福祉の増進に多大なる功績を残された、高橋助七氏に対し感謝の意を込め、特別表彰が贈られました。

「体験発表」

村川順二さん

社会福祉法人

表彰の後、受賞者を代表して、社会福祉法人新潟市社会事業協会評議員の村川順三さん、フレンドリーわかばグループの代表西田友子さんのお二人から日頃の活動の概要や活動する上で大切にしていることの体験が発表され、参加者から大きな拍手が贈られました。記念講演では、「これか



ら市町村社協の果たすべき役割」と題して、新潟青陵大学福祉心理学科教授である土橋敏孝先生から政令指定都市移行後の社会福祉協議会のあるべき方向がアドバイスされました。土橋教授は、昨年度「社協あり方懇談会」の副座長を務め、本年度は、社協創造計画策定検討委員会の委員長に就任され、計画の取りまとめをお願いしています。

下校時の交通安全指導等や「青山大好き隊」という組織をつくり、父兄や地域住民の方々にも学校の掃除や手伝い、昔の遊びの指導などにも積極的に参加していただいている。

浦山地区の自治協議会では、毎年5月末に地域の児童と関屋分水左岸の清掃、花文字植栽や昼食会など長年にわたり行い親子・地域住民の親睦を図り、また毎年9月には高齢者を招き「浦山地区ふれあいの集い」を行い、踊り・カラオケ・学生の落語などで楽しんでいただいている。

西田友子さん

フレンドリーわかばグループ

昭和56年に新潟市では一番古い精神障害回復途上者作業訓練施設として「わかば作業所」が開所し、同時にボランティアグループも活動を開始する。

4年前に現在地に移転した際に「フレンドリーわかばグループ」となり、箸箱作りや、ミシンによる縫製の委託作業を主とし、メンバーの方の会話から病気の理解を深め、日常生活の不安や困ったことを一緒に考え、アドバイス等の出来る範囲での支援を行っている。納期に追われる仕事ばかりではなくお花見や食事会などの毎月の行事に参加し、楽しいときを共に過ごしている。これらの活動を通して年月を重ね信頼関係を築き、様々なかたちで通所される方と共に歩んでいきたいと考えている。

おじゃましま〜す!

(老人デイサービス編 PART4)

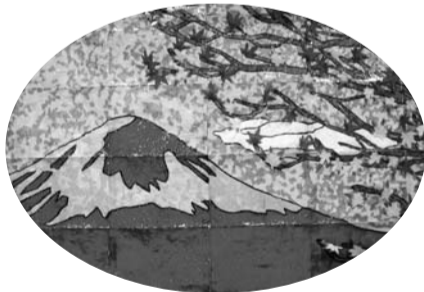
最終回を迎えた「おじゃましま〜す!」(老人デイサービス編)!今回は、統合前の旧福祉公社の頃より、運営に携わってきた本町、藤見、黒崎荘の3箇所の老人デイサービスを訪問してきました。

これまでの施設と異なり、交通量が激しい市街地の中での施設もありましたが、どの施設もスタッフも利用者も明るく元気で、笑顔に満ち溢れていました。

なお、今回で当会の全デイサービス(12施設)を紹介しましたが、これからもよりよい施設を目指して努力して行きたいと思っております。今後とも皆さま

デイサービスセンター 藤見

連絡先 (025) 279-3335



玄関に飾られた富士山は、お客様が力をあわせ作成した力作!四季折々の飾り付けで皆様をお迎えいたします。

なお、午後のひと時には、お茶菓子を前に、お客様の笑顔が咲きほころぶ中、職員を交えた談話交流を行っております。

ご自身がご自身でいられる場所、そのような場所でありたい、温かい時間の流れる施設です。

新しい区割りと言う2区の、東山の下小学校隣に位置するのが当施設です。

お客様は、日替わりレクリエーション(活動的なものと創作的・文化的なもの)の2部構成となっております)他に読書、塗り絵、歌、体操などお好きなように過ごされており。また、静かにのんびりしたい方、大勢が苦手な方も気を使わずに過ごしていただけるように配慮しております。

デイサービスセンター 本町

連絡先 (025) 227-5802

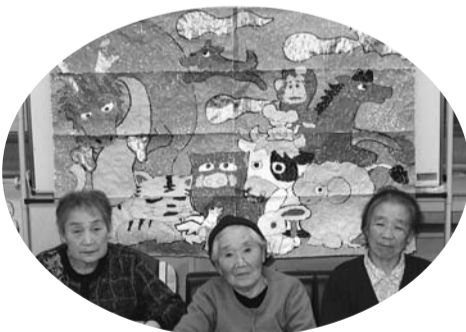


チューブ体操でいつまでも元気!

くです。【チ】地域交流も盛んで保育園児やボランティアとの交流もあります【ヨ】喜びや楽しみあふれる施設です。【ウ】ウェルカム(ようこそ)、本町へ!

デイサービスセンター 黒崎荘

連絡先 (025) 377-1200



利用者作品の大作「十二支」を前に皆の笑顔が溢れています!(大きさは縦1m×横1.6m)

の絵かわからんね〜との声も聞かれましたが、完成した絵を見ると「良く出来たね〜」と皆さん大喜びでした。

この施設は、「緒立の湯」として、近隣から知られる老人福祉センターと併設されています。

旧黒崎町の頃より地域に開かれた施設として、現在も地元のボランティアの協力を得ながら、親しみのあるデイサービスを目指しています。

写真は、今年新しく建設された黒崎市民会館の黒崎地区文化祭に展示させて頂いたちぎり絵です。レクリエーションの時に皆さんで作成しました。絵を何枚にも分けて作業したため、作成中は「何

白根

地区社協ボランティア活動紹介 地区ボランティアセンター

「白根」と言われて、あなたは何を思い浮かべますか? 大風合戦? ぶどうや桃、梨などの果物? それとも、仏壇? いえいえ、白根と言えば「ボランティア!」今日も、施設やお茶の間で、たくさんのボランティアが活躍しています。また、白根地区では「地域で子育てを応援する」ファミリーサポートセンター事業を実施しています。来年度からは、味方・月湯地区でも会員募集を始め、広域で事業展開していく予定です。~ボランティアよろず相談~ボランティアのことなら、何でもご相談ください。白根老人福祉センターでお待ちしています!

白根地区ボランティアセンター

住所: 新潟市白根1132-1
電話: 025-373-3096
FAX: 025-373-3331



ボランティア講座で災害図上訓練をしました。

地区社協

活動紹介シリーズ 9

最終回となる今回は、亀田・月湯・中之口地区です。平成16年6月から連載し、21地区の活動を紹介してきましたが、区制後も市民の皆さんの温かいご支援をいただきながら、地域の特色を活かした活動を展開して行きたいと思っております。

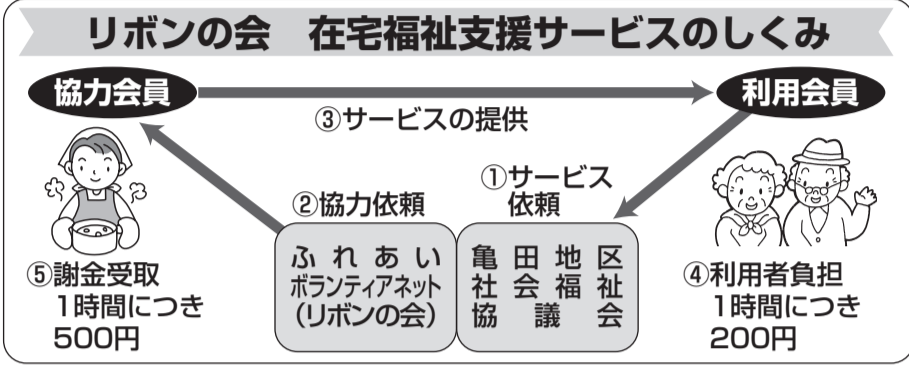
〔在宅福祉支援サービス有償ボランティア「リボンの会」〕
 ちよっとした支援によって、住み慣れたところで安

〔いきいきサロン事業〕
 高齢者等が健康の維持や孤立感の解消を図り、同じ地域に生活するもの同士が世代を越えて生きがいや楽しみを持ちながら元気に暮らし続けられるよう、地域交流の場として支援しています。

現在、11のサロンが月1回程度開催され、保健師による健康チェックを受けたり、調理講習会の実施や、音楽の演奏を聴いたりなど毎回楽しいプログラムを企画し、地域の皆さんをお待ちしています。

〔いきいきサロン事業〕
 高齢者等が健康の維持や孤立感の解消を図り、同じ地域に生活するもの同士が世代を越えて生きがいや楽しみを持ちながら元気に暮らし続けられるよう、地域交流の場として支援しています。

亀田地区社会福祉協議会



歌に合わせてお手玉ゲーム
 ～いきいきサロンより～

心して暮らしていけるように、サービスを受けたい人と協力できる人との会員制により活動しています。高齢者や障害者等を地域住民同士で気兼ねなく助け合える組織として、家事援助やお話し相手などの支援をしています。

【福祉のつどい】
 去る11月26日、「第2回福祉のつどい」を開催しました。以前は、「社会福祉大会」として開催していたものを「福祉のつどい」と改めて福祉関係者・団体の方とはもとより、地域の皆さんから広く、気軽に参加していただける会としました。今年には功労者表彰の後、元山古志村長の長島忠美氏をお迎えし、中越大地震を経験された内容で記念講演をしていただきました。来

【給食サービス事業】
 ひとり暮らしの高齢者等を対象に毎週火・金曜日の週2回、お昼にお弁当をお届けしています。この事業は、昭和61年5月からスタートして丸20年の歴史を誇ります。ボランティアの関わりは当初、配食のみでしたが、平成5年から調理にも加わっていただき、現在調理16名、配食13名の計29名の方から、ご協力をいただいています。栄養のバランスの取れた安全で安心して食することのできるお弁当をお届けすることと利用者の安否確認や状況について把握することができ、配食中に倒れている利用者を見出し、一命を取りとめたこともあります。地域のボランティアに支えられる大事な在宅福祉サービスのひとつです。

【給食サービス事業】
 ひとり暮らしの高齢者等を対象に毎週火・金曜日の週2回、お昼にお弁当をお届けしています。この事業は、昭和61年5月からスタートして丸20年の歴史を誇ります。ボランティアの関わりは当初、配食のみでしたが、平成5年から調理にも加わっていただき、現在調理16名、配食13名の計29名の方から、ご協力をいただいています。栄養のバランスの取れた安全で安心して食することのできるお弁当をお届けすることと利用者の安否確認や状況について把握することができ、配食中に倒れている利用者を見出し、一命を取りとめたこともあります。地域のボランティアに支えられる大事な在宅福祉サービスのひとつです。

【給食サービス事業】
 ひとり暮らしの高齢者等を対象に毎週火・金曜日の週2回、お昼にお弁当をお届けしています。この事業は、昭和61年5月からスタートして丸20年の歴史を誇ります。ボランティアの関わりは当初、配食のみでしたが、平成5年から調理にも加わっていただき、現在調理16名、配食13名の計29名の方から、ご協力をいただいています。栄養のバランスの取れた安全で安心して食することのできるお弁当をお届けすることと利用者の安否確認や状況について把握することができ、配食中に倒れている利用者を見出し、一命を取りとめたこともあります。地域のボランティアに支えられる大事な在宅福祉サービスのひとつです。

月湯地区社会福祉協議会

【地域の茶の間サロン】
 当地区では、今まで行政が中心となり「じよんのび会」の名前で開催していましたが、今年度から老人クラブを中心に社協もお手伝いをしており、

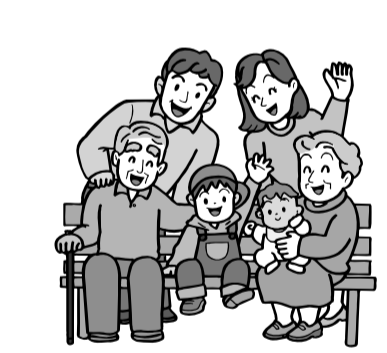
【地域の茶の間サロン】
 当地区では、今まで行政が中心となり「じよんのび会」の名前で開催していましたが、今年度から老人クラブを中心に社協もお手伝いをしており、



第2回福祉のつどい
 長島忠美氏を迎えての記念講演に参加者は熱心に聴き入っていました。

【ボランティア活動】
 当地区では、ボランティア連絡協議会（8グループ5協力園校）があり、各グループが施設ボランティアや紙芝居ボランティアなどで活躍中です。特に夏に「福祉フェスティバル」を実施し、各グループの活動紹介やチャリティーバザー、講演など、とても盛りだくさんな内容で毎年たくさんの方からお越しいただいております。

中之口地区社会福祉協議会



紙芝居をするボランティアの皆さん
 ～福祉フェスティバルより～

【ボランティア活動】
 当地区では、ボランティア連絡協議会（8グループ5協力園校）があり、各グループが施設ボランティアや紙芝居ボランティアなどで活躍中です。特に夏に「福祉フェスティバル」を実施し、各グループの活動紹介やチャリティーバザー、講演など、とても盛りだくさんな内容で毎年たくさんの方からお越しいただいております。

【ボランティア活動】
 当地区では、ボランティア連絡協議会（8グループ5協力園校）があり、各グループが施設ボランティアや紙芝居ボランティアなどで活躍中です。特に夏に「福祉フェスティバル」を実施し、各グループの活動紹介やチャリティーバザー、講演など、とても盛りだくさんな内容で毎年たくさんの方からお越しいただいております。

相談センターからのお知らせ

相談センターでは、いろいろな問題や悩みごとの解決に、次の相談窓口を設けています。相談は無料です。お気軽にご利用ください。

心配ごと相談所

〈一般相談〉
 開設日 火曜日～土曜日
 午前9時～午後4時
 ＊来談又は電話で相談に応じております。

〈法律相談〉(予約制1人30分)
 開設日 土曜日 午前9時～正午
 ＊来談のみの相談です。
 TEL 025-243-4369

障害者生活支援センター

〈一般相談〉
 開設日 火曜日～土曜日
 午前9時～午後4時

〈ピアカウンセリング〉
 開設日 火・水・金曜日
 午後1時～午後4時

〈健康相談〉
 開設日 火曜日～金曜日
 午後1時30分～午後4時

在宅介護相談コーナー

開設日 火曜日～日曜日
 午前9時～午後5時
 TEL 025-248-6283
 FAX 025-243-4376

在宅介護相談コーナー

〈法律相談〉(予約制)
 奇数月の第2土曜日
 午後1時～午後3時
 TEL 025-248-7181
 FAX 025-248-7182

まごころヘルプ公開講座

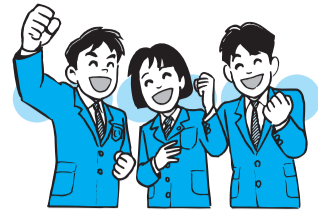
あなたが笑えば私も笑う。素敵な笑顔は病気もストレスも追い払い、免疫力アップ!そして魅力アップ!そんな素敵な人生を送るためのコツをお教えます。

演題 『いきいき人生・笑いと健康』
 講師 社団法人新潟県労働衛生医学協会 大西 金吾 様
 日時 平成19年1月18日(木) AM10:00～11:30
 会場 新潟市総合福祉会館 5F 大集会室1・2
 定員 先着100名(要申込み)



問い合わせ・申込先
 地域福祉課まごころヘルプ室まで

修学資金貸付のお知らせ



下記のような世帯を対象とした高校入学時等の貸付相談を行っています。

■貸付対象

新潟市内に居住している低所得世帯で、他の金融機関(銀行・国民生活金融公庫等)から借入が困難で、日本学生支援機構等の奨学金制度に該当しない世帯が対象です。

■相談時に必要な書類

- (1)合格(入学)証明書
- (2)世帯員の中で所得がある人はそれを証明するもの(源泉徴収票・給与明細書・年金の通知書等)

■その他

- (1)連帯保証人が1名必要となります。
- (2)申請は地域の民生委員を通じて行います。
- (3)卒業後6ヶ月据置後、10年返済になります。(無利息)

〈低所得世帯の所得基準〉(参考)

世帯人数	所得金額(月額)
3人	288,000円以下
4人	356,000円以下
5人	414,000円以下

—修学資金貸付金額—

支度費…入学に際し、必要な経費(上限あり)
 修学費…卒業するまでの月数(最大36ヶ月)申請可能

- 支度費(入学時のみ借入可能)500,000円まで
- 修学費(在学する期間)月額35,000円まで

～計算例～
修学費は6ヶ月に1度の分割交付です。

- ①高校に合格し申請する場合
 - 支度費 350,000円
 - 修学費 月30,000円×36ヶ月
- ②高校2年から申請する場合
 - 修学費 月33,000円×24ヶ月

■お問い合わせ

旧新潟市地域にお住まいの方は、地域福祉係までお問い合わせください。

旧新潟市以外の地域にお住まいの方は、各地区社会福祉協議会へお問い合わせください。
※連絡先のわからない方は、地域福祉係までご連絡ください。

■大学、短大、専門学校へ入学の場合、日本学生支援機構のきぼう21プラン(有利子)を優先します。

問い合わせは、現在、在籍している高校・進学する予定の学校・日本学生支援機構(0570-03-7240)まで。



あなたのひとかきで歩きやすい道に!



社会福祉協議会では、バス停など市内2・2・3ヶ所に雪かき用スコップを設置し、市民の皆様へ「ひとかきの協力」を呼びかけています。

この運動は、お年寄りや子ども達が安全に歩行できるように、横断歩道やバス停付近にスコップを設置し、バスの待ち時間などに「ひとかき」をする事で、「たすけあい」の心を育もうと、平成7年度から市の協力を得て実施しています。街角で青いスコップを見かけましたらご協力をお願いいたします。

おもいやりのひとかき運動
 ひとかきの除雪で
 あたかなまちづくりを

社協職員募集

新潟市社会福祉協議会では、平成19年4月採用の正職員を募集します。採用試験は次のとおりです。

- ◎受付期間 平成18年12月18日(月)～平成19年1月9日(火)
- ◎第1次試験 平成19年1月21日(日)受付：午前9時から
- ◎第1次試験の内容 教養試験、適性検査
- ◎試験の詳細と申込について

試験の詳細な内容については、採用試験実施要綱に記載されています。採用試験実施要綱及び申込書を希望する方は返信用封筒(あて先を記入し80円切手を貼る)を同封し、請求する封筒に「試験要綱請求」と明記し、新潟市社会福祉協議会 総務課総務係へ郵送してください。

また、採用試験実施要綱及び申込書は、本会ホームページからダウンロードできますのでご利用ください。(http://www.syakyo-niigatacity.or.jp)

編集後記

気がつけばもう師走、今年もあとわずかです。この時期、毎年思うことですが、来年こそは良い年でありませうと……。

笑顔で新年を迎えられて、嫌なことも笑いで吹き飛ばせるくらい元気な1年を過ごせれば、最高だなと思う今日この頃です。

来年はイノシシ年ということ、「猪突猛進」新潟市社会福祉協議会も区制に向けて、全職員が一丸となって突き進んでいきたいと思っています。

(H.T)

あなたに善意のご寄附をありがとうございました

9月～11月までを掲載

寄附金(敬称略)

一般寄附

〈9月〉

花と遊ぼう in 神道寺	10,000円
NIC小針	160,638円
緑水工業(株)	11,000円
浮洲第二町内会	7,000円
(福)親永会 はじめ保育園グループ	150,000円
新潟日報販売(株)新大前営業所	64,677円
(有)フリーウェイツアー	5,000円
金子 文麿	3,000円
大形商工会	10,000円
匿名 2件	8,000円

〈10月〉

新潟県園芸商協会	47,220円
新柳会	30,732円
ジャパン・カインドネス協会	17,784円

新潟市連合婦人会	30,000円
松浜ふれあい会	5,000円
NEXT21管理組合	4,541円
かけはしの会	26,897円
新潟日報NIC石山東	75,150円
中央公民館文化祭実行委員会	4,300円
カラオケなでしこ会	20,000円
濁川ゆうあい会	3,000円
曾野木七味の会	5,000円
北陸ガス(株)	705,316円
山田 栄子	10,000円
曾野木地区文化祭実行委員会	10,000円
金子 文麿	3,000円
匿名 3件	16,000円

〈11月〉

新潟大学医学祭バザー部門	129,959円
新潟信用金庫本店 信友会ゴルフ部	26,516円
西地区公民館 楽焼教室	3,000円

新潟万代ライオンズクラブ	10,000円
新潟らん友会	20,000円
新潟樹ごころの会	13,500円
新潟市仏壇業協同組合	9,000円
西地区公民館 サークル虹	10,000円
程島町内会	4,678円
金子 文麿	3,000円
連合新潟地協青年女性委員会	21,350円
西地区公民館 ニューあすか	10,000円
匿名 6件	143,925円

香典返し

〈10月〉

分部 清	180,000円
------	----------

寄附物品(敬称略)

〈9月〉		
(株)マイカル 新潟サテイ		雑巾231枚
茨城県茨城町・JA水戸		トマト30箱、甘藷50箱

〈11月〉

下越南地区特定局長会		車イス1台
坂井 毅		毛布7枚

お問い合わせ先

新潟市社会福祉協議会事務局 〒950-0909 新潟市八千代1-3-1 TEL (025) 243-4366(代表) FAX (025) 243-4376

総務課 (025) 243-4366(代表)

総務係 (025) 243-4366
 経理係 (025) 243-4366

介護サービス課 (025) 248-7172

居宅支援係 (025) 248-7169
 在宅サービス係 (025) 248-7172
 施設サービス係 (025) 248-6282

地域福祉課 (025) 248-7165

企画管理係 (025) 248-7165
 地域福祉係 (025) 248-7165
 児童育成係 (025) 248-7167
 まごころヘルプ室 (025) 248-7175
 ボランティアセンター (025) 243-4370
 地域福祉権利擁護事業 (025) 243-4416

相談センター

心配ごと相談所 (025) 243-4369
 (日曜・月曜休み)

障害者生活支援センター (025) 248-7181
 (日曜・月曜休み)

在宅介護相談コーナー (025) 248-6283
 (月曜休み)